

【シリーズあれから2年】

姫路市香寺町のM様宅をお訪ねして、お話を伺いました。

家の内外には、県産の杉板がふんだんに使われています。その中でも外壁の杉板は、ご主人様自身が二年前のゴールデンウィークに、プレカット工場まで出向いて塗装されたとのこと。

「二日でもやり切りました。その後しばらく手がしびれましたよ(笑)でも手間をかけた分、愛着がわきました」とおっしゃいます。

家を建てるにあたって、多くの書物を読み、ご経験を生かしたセルフビルドをおこなうなど、理想の家を



木のすまい仕様の家

「身土不二の家づくり」

思い描いて、できる限りの努力をされたそうです。また、家を建ててからも研究熱心で、完成見学会などにも足を運んで下さっています。

M様にとって、良い家をつくるための条件についてお伺いしたところ、「その土地の気候風土に合うように、地場の材料（木や土などの自然素材）を使って、結露を発生させない、風通しの良い間取り（設計）をし、地場の信頼できる工務店で施工することですね」と明快に答えられました。

「身土不二」という言葉があります。さまざまな生き物が、自らの動ける範囲で餌（養分）を獲り、その土地で生きているように、人もまた地場の食べ物、地場の材料でつくった家に暮らすことが健康にも良く、大切なことであるとする考え方です。もともと自然系のものが好きで、県産木材にこだわって下さったM様の家づくりは、身土不二を体現されたものであったと感じ入りました。



「パッシブ」という考え方

自然の力を取り入れて、快適な生活を送るための考え方の一つに「パッシブ（受動的）」という言葉があります。アクティブの反対語で使われますが、「熱や力をそのまま利用し、環境を汚さない」という意味もあります。

具体的には、風の力を利用して走るヨットや人間の力で走る自転車など。乗り物に限らず、打ち水をして涼を得たり、昼間干した布団で夜暖かく眠るのもパッシブのあり方といえるでしょう。

このような考え方は「技術の進化を否定して、昔の生活に戻る」のではなく、自然とより深く関わるることによって得られるものを大切にしたいという考えや化石燃料に頼るよりも心地よい暮らしができるという考えに基づいているのです。

太陽が暖かい。吹く風が心地よい。鳥のさえずりや虫の音が気持ちいい。そうしたものを、閉ざす方向ではなく、親しみながら活かし、パッシブな生活を愉しみたいものです。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 啓介

【「第23回ひょうご木材フェア」開催】

県の「暮らしの中に木材を取り入れる運動」の一環として開催します。県民の皆様にと環境にやさしい木材に「見て触れて暖かさ感じて」もらえる内容です。

日時 10月12日(日)10時～16時
場所 神戸市中央区メリケンパーク広場
主催 兵庫県木材利用推進協議会
展示 机、椅子などの家具、玩具など
親子で楽しめる木工教室
兵庫県産木造住宅融資制度の相談
当日、「ラジオ関西まつり」の共催イベントのステージでは、音楽イベント等も催されます。

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

県産木材産地見学会

県産木材や木造住宅に興味のある皆様は、この機会にぜひご参加ください。生産地（伐採現場）から製材工場、モデルハウスまでの木材の流れをバスで訪ねます。

とき：10月25日(土) 8:00～18:30(予定)

集合場所：阪急西宮北口
またはJR姫路駅

見学先：伐採現場（宍粟市）・製材所（宍粟市）
・モデルハウス（芦屋市/姫路市）

費用：大人1,000円
小学生以下無料

見学先は変更になる場合があります。詳しくはお問合せ下さい。



杉の伐採

ひょうごの木で家を建てる『家づくりセミナー』（第4期）

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいづくりは、安心で安全、しかも環境との共生にも配慮した健康で楽しいライフスタイルを提供します。計4回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

開催日

- 第1回】H20年 9月20日(土)
- 第2回】H20年 10月18日(土)
- 第3回】H20年 11月15日(土)
- 第4回】H20年 12月13日(土)

- ・時間 13:00～15:30
- ・費用 4,000円(4回分)
- ・場所 2会場同時開催です。

西宮市民会館
サンライフ明石(明石市立
中高年齢労働者福祉センター)

詳しくは事務局までお問合せ下さい。

